

□講義科目(専門科目)

科目名	経営分析論(隔年開講、2024年度開講)	2単位
担当者	近藤 智也(非常勤教員)	
テーマ	事業経営における分析手法の理解と実践的応用	
開講形態	一部ハイブリッド形式	
科目のねらい	<p><キーワード> 財務会計、管理会計、定性分析、企業財務論、経営改善(事業再生)</p> <p><内容の要約> 事業経営に必要な経営分析手法を理解する。まず一般的な企業経営分析を概観し、医療福祉関係法人における経営分析への応用を考える。医療福祉関係法人においては経営分析結果の利用者として経営者以外のステイクホルダーが想定されにくい傾向があり、そのため、利用目的においては経営改善が重要視されることから、経営分析に基づく経営改善まで意識した内容を取り扱う。</p> <p><学習目標> 事業経営における経営分析の意義と必要性及び重要性につき理解できる。 経営分析を通し事業継続(問題解決)に必要な能力を身につけることができる。</p>	
授業の進め方	<p>第1回 オリエンテーション・経営分析とは何か</p> <p>第2回 法人形態と財務諸表</p> <p>第3回 【財務諸表分析】安全性・流動性分析(1)</p> <p>第4回 【財務諸表分析】安全性・流動性分析(2)</p> <p>第5回 【財務諸表分析】収益性分析</p> <p>第6回 【財務諸表分析】キャッシュフロー分析</p> <p>第7回 【財務諸表分析】損益分岐点分析</p> <p>第8回 【財務諸表分析】生産性分析</p> <p>第9回 【財務諸表分析】成長性分析</p> <p>第10回 【定性分析】非財務情報・定性情報分析</p> <p>第11回 【分析と改善】事例研究(1) ケーススタディ</p> <p>第12回 【分析と改善】事例研究(2) ケーススタディ</p> <p>第13回 【分析と改善】事例研究(3) ケーススタディ</p> <p>第14回 【分析と改善】事例研究(4) ケーススタディ</p> <p>第15回 不足部分の補充および全体の整理(成果報告)</p>	
事前学習の内容 学習上の注意	<p>事前の学習として、貸借対照表、損益計算書(もしくは事業活動計算書や収支計算書)につき、理解できなくても、目にしておくことは必要である。原則、授業は経営分析に関する専門家を履修対象者として想定していないが、履修生の属性および既履修科目の状況に応じて専門性を高めていく可能性はある。本科目においては予習を求めることが多く、主に履修生による報告形式で行う。なお定量分析を行う場合があるため計算機は必要である(スマートフォン程度で可)。</p>	
本科目の 関連科目	会計学(経営分析論と隔年で開講)、経営管理概論、医療福祉経営論	
テキスト	<p>倉田三郎監修・藤永弘編著『新版入門経営分析』(同文館出版)</p> <p>その他適時必要に応じて参考文献を紹介するとともに必要な資料を配布する。</p>	
参考文献	特に指定しない。	
成績評価方法 と基準	レポート(60点)、講義時の積極的質問・発言内容(40点)により評価し、総合評価60点以上を合格とする。	